



親子の学び応援講座（福島市立平田小学校教養講座）

この講座は、県北地域における家庭教育を推進するとともに親の学び・家庭での実践活動を支援することを目的としています。今回は、令和3年11月27日(土) 福島市立平田小学校において、青少年を取り巻くネット環境の現状、メディアが健康に与える影響、適切なメディアの使い方等に関する講座を行いました。

講演 医療創生大学心理学部 教授 中尾 剛 氏
「子供たちのネットメディアの利用における現状と危険性について」

1 青少年のインターネット利用状況

オンラインゲームの課金やネットショッピングなど、高額金銭トラブルが発生している。



知らないうちに親のクレジットカードを子どもが使用して大きな問題に発展することもある。

オンラインゲーム市場
= 1兆3千億円
≒ 福島県の当初予算

2 デジタルネイティブ世代の子どもたち

スマホ

子どもが生まれた時から存在
親にとっては日常になくなくてはならない存在

- スマホ育児によって子どもが**サイレントベビー**になる危険性

サイレントベビー：表情が乏しく言葉が出にくい赤ちゃん

スマホを与えて大人しくさせておく育児⇒×
子どもの目を見ながら語りかけての育児⇒○

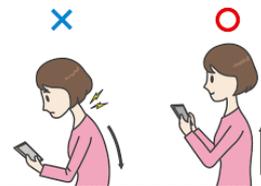


3 ケータイ・スマホ・ネットへの依存と健康被害

- 中高校生の14%がネット依存=**7人に1人の割合**

健康被害

ブルーライトの影響による**不眠**
近い位置でスマホを見ることによる**急性内斜視**
重い頭を支えることによる**ストレートネック**



頭は、体重の7~10%の重さ
下を向いて頭を支えていると…

肩こり、頭痛

4 情報モラル教育

- 子どもは親の鏡：大人もしっかりルールを守ることが大切

※ 自分の子どもに **安全な道の歩き方を教える** = **インターネットの使い方を教える**

<参加者の声>

- 親はルールを作っているつもりになっていることに気づかされました。
- 「守れる・理解できる」ルールを親子で決めたいと思いました。
- 親として子どもの鏡となれるようにメディアを利用したいと思います。
- 家族で話し合いの時間をもちたいと思います。

【ネットメディアを賢く利用】
ネットメディアを利用せずに生活することもはや困難な現代社会。ネットに頼りすぎることなく、節度をもって利用させることで子どもの心身の健全な育成を目指すことが必要です。

- ◇ 親子で一緒に守れるルールを作り、親も子も例外なく守る。
- ◇ 子どもがネット依存に陥らず、健康を害することがないようにメディアを適正に利用させる。
- ◇ 子どもの行動に関心を持ち、顔を合わせて感情が通った子育てをする。

家庭教育に関するお問い合わせは県北教育事務所総務社会教育課 菅野まで

(電話 024-521-2814 E-mail kanno_momoko_02@pref.fukushima.lg.jp)